

令和6年9月4日

鞍手町立小学校統合整備事業設計・施工一括発注プロポーザルの審査講評

鞍手町立小学校等建設設計・施工候補者選考委員会

鞍手町立小学校統合整備事業の実施にあたり、鞍手町立小学校統合基本計画改訂版（以下「基本計画改訂版」という。）を踏まえ、町が求める機能や諸条件を余すことなく鞍手町立小学校統合整備事業に反映するとともに、鞍手町の将来の動向も見据え、教育環境に求められる機能を備えた新たな鞍手町立小学校となるよう、町の状況を十分に理解したうえで、柔軟かつ円滑に設計・施工等業務を行うことができる高い技術力や豊富な経験を有する事業者を選考するため、公募型プロポーザルが実施されました。

本プロポーザルでは、4者より参加表明があり、参加資格要件の確認や、設計事務所、建設会社及び担当技術者の実績などを総合的に評価したうえで、当該4者を技術提案書等提出要請者として選考し、技術提案書等の提出を受けました。

鞍手町立小学校等建設設計・施工候補者選考委員会（以下「選考委員会」という。）では、令和6年8月26日にプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、業務実施方針や4つのテーマに対する各者の提案などについて審査を行い、下記のとおり最優秀者及び優秀者を選考しました。

選考においては、4者ともに基本計画改訂版の趣旨、鞍手町立小学校統合整備事業要求水準書の業務内容をよく理解されており、各者の持てる技術力や創造性を十分に発揮した非常にレベルの高い提案内容でありました。また、校舎を中心として、放課後児童クラブ、学校給食共同調理場及び地域開放する屋内運動場が同じ敷地内に計画されるため、歩車分離などの安全性を考慮した動線計画がなされ、敷地条件を十分に踏まえたバランスの取れた提案内容でもありました。その中でも特に、最優秀者の提案については、重要なテーマである子どもが通いたくなる学校や施設計画に対して、課題把握の的確性、実現性に加え、業務実施方針が他者よりも高く評価されたところです。

選考に至るまでの経過については別紙のとおりですが、本プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた4者の関係各位に心より感謝いたします。

今後、選考された技術提案に基づき、町、教職員や保護者などの関係者との合意形成を図りながら設計が進められ、先に統合された鞍手中学校とともに全国に誇れるような義務教育環境が整備されることで、「鞍手町で子育てしたい」と思われる、鞍手町のシンボルになる統合小学校が整備されることを祈念します。

記

最優秀者 (B社) 戸田・山下 設計・施工共同企業体

優 秀 者 (A社) 東急・東畑 設計・施工共同企業体

【別紙】

1) 選考委員会委員

鞍手町立小学校等建設設計・施工候補者選考委員会設置要綱に基づき公開しない。

2) プロポーザル経過

期日等	内容
令和6年4月19日（金）	公告（公募開始）
令和6年5月24日（金）	参加表明書等の受付終了 ・ 4 共同企業体より参加表明
令和6年5月27日（月） ～ 令和6年5月29日（水）	参加表明書等審査（1次審査）
令和6年5月30日（木）	1次審査結果通知 参加表明4者に技術提案書等提出要請
令和6年6月4日（火） ～ 令和6年6月7日（金）	現地説明会実施 1日に1者ずつ実施。順番は参加表明書等提出順。
令和6年7月30日（火）	■第1回選考委員会 ・ 委員委嘱 ・ 選考委員会設置要綱の確認 ・ 鞍手町立小学校統合基本計画改定版の確認 ・ 2次審査評価要領の確認
令和6年8月20日（火）	技術提案書等の提出期限 ・ 技術提案書等提出要請の4者が提出
令和6年8月21日（水）	技術提案書を選考委員へ配布
令和6年8月26日（月）	■第2回選考委員会 ・ プレゼンテーション及びヒアリング（2次審査） ・ 評価集計結果の確認 ・ 最優秀者、優秀者の確認
令和6年9月4日（水）	2次審査結果公表及び通知

3) 受注候補者選考方針

鞍手町立小学校等建設設計・施工候補者を次の審査を経て選考する。

- (1) 1次審査 参加表明書等を提出した者の参加資格要件等を確認し、審査及び評価の上、技術提案書等提出要請者を選考する。
- (2) 2次審査 技術提案書等を提出した者の技術提案書等の内容をプレゼンテーション及びヒアリングで審査及び評価し、最優秀者1者、優秀者1者を選考する。

4) 参加表明書等審査（1次審査）概要

(1) 評価項目と評価の配点

評価点は、120 点満点として、評価項目及び評価点の配点は、次のとおりとし、評価点の合計が 72 点以上の者を選考する。なお、1 次審査評価点は、2 次審査へ持ち越さない。

① 参加者の財政状況	30 点
② 参加者の実績	45 点
ア 設計業務担当者の実績	内 15 点
イ 工事監理業務担当者の実績	内 15 点
ウ 施工業務担当者の実績	内 15 点
③ 配置予定技術者の実績	45 点
ア 設計業務管理技術者の実績	内 15 点
イ 現場代理人の実績	内 15 点
ウ 監理技術者の実績	内 15 点

(2) 参加表明書等提出者別評価一覧表

評価項目/判断基準	配点	A 社	B 社	C 社	D 社
(1) 参加者の財政状況	30.00	21.00	25.00	27.00	22.00
ア 売上高経常利益率					
イ 自己資本比率					
ウ 流動比率					
エ 決算状況					
オ 利益剰余金					
(2) 参加者の実績	45.00	45.00	45.00	45.00	33.50
ア 設計業務担当者の実績					
イ 工事監理業務担当者の実績					
ウ 施工業務担当者の実績					
(3) 技術者の実績	45.00	22.20	27.55	23.00	22.00
ア 設計業務管理技術者の実績					
イ 現場代理人の実績					
ウ 監理技術者の実績					
合計	120.00	88.20	97.55	95.00	77.50

5) 技術提案書等審査（2次審査）概要

(1) 評価項目と評価の配点

評価点は、600 点満点として、評価項目及び評価点の配点は、次のとおりとし、
評価点の合計が 360 点未満の者は、受注候補者として選考しない。

①	業務の実施方針	120 点
②	基本計画に対する業務提案	480 点
ア	テーマⅠ 子どもが通いたくなる学校	内 144 点
イ	テーマⅡ 施設計画	内 144 点
ウ	テーマⅢ 事業費のマネジメント	内 96 点
エ	テーマⅣ その他の提案	内 96 点

(2) 技術提案書等提出者別評価一覧表

評価項目		判断基準	配点	A社	B社	C社	D社
(1) 業務の実施方針（業務計画提案書）			120	90	96	92	66
①	業務を実施する上での課題把握の的確性	本事業の主旨、業務を実施する上での課題が的確に把握されているか。					
②	実施方針の的確性、実現性、独創性	課題を解決し、業務を完遂するための実現性、独創性のある方針が示されているか。					
③	実施体制の的確性、妥当性	チーム編成、メンバー、推進体制が合理的で、的確か。					
④	要求水準確保のための考え方、手段の妥当性、実現性、独創性	スケジュール、品質等の要求水準を確保するための考え方、手段について記載されているか。それには実現性、工夫が読み取れるか。					
テーマ		評価項目	配点	A社	B社	C社	D社
2 基本計画に対する業務提案			144	110	116	114	93
テーマⅠ 子どもが通いたくなる学校							
(1) 子どもの学習意欲や好奇心を掻き立てる校舎 新学習指導要領や学校ICT環境整備への対応を踏まえ、教室に限らず、多目的スペース、図書室、階段、廊下など、学校のあらゆる場所で子どもたちの学習意欲や好奇心、遊び心を掻き立てる提案がされているか。		① テーマを理解しているか（理解度）					
(2) 居心地の良さ、ぬくもりを感じられる学校 教室など多くの友だちと共に過ごす場だけでなく少人数で落ち着ける場所、積極的な内装の木質化を図るなど、多様な個性をもつ子どもたちが安心して過ごすことができる工夫が提案されているか。		② 課題把握が的確か（的確性）					
		③ 新たな取組やアイデアであるか（独創性）	144	106	116	98	82
		④ 提案内容が実現可能な内容か（実現性）					
テーマⅡ 施設計画							
(1) 建設計画・配置計画 限られた面積の中で敷地特性等を活かし、校舎・屋内運動場・学校給食共同調理場・放課後児童クラブが配置され、運営時の利用しやすさを考慮した計画が記載されているか。		① テーマを理解しているか（理解度）					
(2) 安全確保 町内の全児童が、徒歩、スクールバス、保護者の自家用車など、様々な手段で通学することとなり、これに加えて教職員をはじめとする各施設の従事者、学校給食共同調理場への食材等の搬入車や鞍手中学校への給食配送車など、多くの人・車が出入りすることになるが、各人・車の動線の区分が図られ必要な駐車スペースが確保されるなど、安全確保のための提案がされているか。		② 課題把握が的確か（的確性）					
		③ 新たな取組やアイデアであるか（独創性）	96	65	63	59	38
		④ 提案内容が実現可能な内容か（実現性）					
テーマⅢ 事業費のマネジメント							
(1) 建設工事費上昇への対策 令和6年度となり、昨今の建設工事費について物価高騰や工事費及び労務費の上昇について発注者として苦慮しているが、これらに対する事業者としての知見や方策についての提案がされているか。		① テーマを理解しているか（理解度）					
		② 課題把握が的確か（的確性）					
(2) 全体事業費のコントロール方策 長期に渡る事業を遂行するにあたり費用項目の潜在化が課題となる。建設工事費以外の項目コントロールが重要だと考えているが、これに対する事業者としての知見や方策についての提案がされているか。		③ 新たな取組やアイデアであるか（独創性）	96	70	70	63	44
		④ 提案内容が実現可能な内容か（実現性）					
テーマⅣ その他の提案							
(1) 環境対策 鞍手町は、地球温暖化対策を目的とし、事務事業から排出される温室効果ガスの排出削減に向けて取組む鞍手町地球温暖化対策実行計画を定めている。鞍手町立小学校統合整備事業においても上位計画に則り事業を進めていくこととなるが、このことに対する事業者としての知見や方策についての提案がされているか。		① テーマを理解しているか（理解度）					
		② 課題把握が的確か（的確性）					
(2) 地域貢献 鞍手町立小学校統合整備事業の事業規模は、これまでの当町の歴史を振り返っても最大の事業規模となっており、事業の実施を通して、まちづくりや人づくりなど寄与することを期待している。当該事業の実施にあたりより多くの関係者に関わっていただくための知見や方策についての提案がされているか。		③ 新たな取組やアイデアであるか（独創性）					
		④ 提案内容が実現可能な内容か（実現性）					
合計			600	441	461	426	323